



・発行日
52・9・30
・発行
岡崎市AVL
・編集
広報委員会

昭和52年度

愛知県学校視聴覚教育

10月12日(水) 研究会 迫る!!
連尺小・城北中

昭和52年度愛知県学校視聴覚教育研究大会は、
いよいよ十月十二日(水)、連尺小学校、城北中
学校を会場にして開催される。

昨年度より、NHKの放送教育研究依頼校であ
る愛宕小学校、竜海中学校、そして会場校となつ
た連尺小学校、城北中学校を中心に放送学習の実
践的な研究が続けられてきた。

研究過程においては、大阪大学の水越敏行先生
をはじめ、岡崎市の各教科指導員の先生方からも
たびたびのご指導を頂くことができた。

それだけに、各教科での学び方に密着した放送
学習のあり方が追求されるものと期待される。
両会場とも午前九時より、テレビによる校内放

送の公開から始まり、公開授業、分科会、午後は
会場を城北中学校体育館に移しての全体会(研究
発表四名、記念講演大阪大学水越敏行先生)など
多彩な内容が組まれている。

〈研究主題〉

「学習意欲を高め自ら学ぶ力を培うために、放
送による学習のあり方とその効果を確かめよう」

〈主な日程〉

八・三〇	九・〇〇	受付
九・〇〇	九・三〇	テレビによる校内放送
九・三〇	一〇・一五	公開授業
一〇・三〇	一二・〇〇	分科会
一三・〇〇	一六・三〇	小学校十分科会
		中学校六分科会
		全体会
		研究発表四名
		記念講演、大阪大学
		水越敏行先生
		教育器械展も開

なお、連尺小学校体育館では、教育器械展も開
催されます。

県大会ということ、県内全域からの参加者で
すので、駐車場など、大変御迷惑をおかけする
と思いますが、ぜひ、多くの先生方のご参加を願
いします。

「中学校における放送学習のあり方」について次のような各教科のテーマのもとに毎日実践研究活動を行っており、最後のつめの段階にきている。また、PTA視聴会も同じである。

○社会科

内容を正しくとらえて、追求のしかたを身につける社会科学学習。視聴ノートの指導を通して――

○理科

テレビの継続視聴を通して、自ら問題を見つけ、積極的に問題に対処する能力を高める理科学習。

○英語科

放送教材を効果的に活用することにより、生徒ひとりひとりが場面に即応した会話の仕方に関心をもち、生きた言語現象に接することにより聞く力を中心とする語能力を高める。

発表および提案内容では、視聴能力をどのよう育成してきたか。また、情報処理能力をどのよう伸ばしてきたか。視聴能力と情報処理能力の関係が学習にどのようひびいてきたか等々、各教科ごとにその推移と評価を中心に発表する。(I)

研究大会のテーマを受けて、本校では四月当初から研究委嘱校である竜海中学校と授業研究を重ねて来た。

城北教育の現代化をはかるものとして、四十二年に開局された城北放送局は、「だけれどもが、いつでも、どの番組でも利用できる放送システム」として利用されてきた。本年はさらに新しいVTRやテープが充実し、学校放送のかんづめ利用、積極的な授業への取り入れをはかっている。

市の社会、英語、理科部会の応援を得て、テレビ利用の授業形態も決定し、意欲的に実践が行われている。生徒も継続的なテレビ学習にも慣れ、進んでテレビから学ぼうとする態度が現われてきている。学校放送番組だけでなく、スタジオ等を利用しての自作番組作りも行われ、校内放送にも一段と熱が入ってきた。本校の放送委員会が作製した各種の行事の記録も整理されてきた。将来は授業に必要なテープだけでなく、クラブや学活にも利用できるテープを用意した城北VTRライブラリーを作りたいと意気こんでいる。

最後に、大会が盛大に行なわれることを願うとともに城北教育の発展の礎にしたいと思っている。(S)